

## 夏休み中の事件・事故の防止について

夏休み中は課外活動の時間が増え、思わぬ事故を引き起こしてしまうことや、事故に巻き込まれてしまうケースがあります。

代表者は、課外活動中、構成員を指導する立場にあります。社会や大学等のルール、マナーは、代表者が率先して遵守し、違反者がいる場合は断固とした態度で注意してください。

特に以下の4点について、構成員全員へ周知徹底するよう、お願いします。

### <熱中症対策>

- ・熱中症は、屋外だけではなく、屋内でも発症します。  
体育系・文化系を問わず、代表者は熱中症となる危険性が無いよう配慮をするとともに、構成員全員に、熱中症対策について周知してください。
- ・万一熱中症になった場合は、身体を冷却するなどの処置をするとともに、重症の場合は救急車を呼ぶ必要があります。
- ・製氷機は、体育館、南北課外活動施設、多目的グラウンドに設置されています。なお、製氷機の氷は冷却専用であり、飲料として使用はできませんので注意してください。

### <防犯対策>

- ・例年、体育館等更衣室やサークル棟内での盗難被害が発生しています。活動中は、貴重品ロッカーを利用するなど、更衣室やサークル棟に貴重品は置いたままにしないでください。
- ・大会や行事等で大学を離れて活動する際にも、貴重品は常に身に着ける、活動中であればマネージャーに預けるなど貴重品の管理を徹底してください。
- ・盗難被害に気が付いた場合は、すぐに学生支援課へ連絡してください。

### <SNSの適切な利用>

- ・多くの学生が課外活動用だけでなく個人でもSNSを利用しています。  
SNSを利用することは悪いことではありませんが、面白半分で誹謗中傷や非常識な投稿を行うことは、個人の問題だけでなく、所属団体や大学の名を汚すことにもなりますので、決して行わないでください。
- ・不適切な投稿は避け、有意義に利用してください。

### <緊急時に備えた連絡体制の確立>(併せて資料3も確認すること)

#### ○事前に行うこと

- ・大会などで大学を離れる際には、怪我や事故に備えて保険証を必ず携帯し、目的地の近隣にある救急医療機関などを予め確認してください。
- ・顧問教員や大学への緊急時の連絡体制について、部内で出発前に確認してください。

#### ○事故が発生したら

- ・ショックで動揺するかもしれませんが、できるだけ冷静に努め、仲間と役割分担をして対応してください。
- ・重傷者が出た場合は、自分たちだけで自己判断せず、必要に応じて救急車を呼んでください。  
自分で呼べないときは大声で周囲の人に呼びかけ、必要に応じて警察も呼んでください。
- ・速やかに顧問教員及び大学に連絡してください。
- ・要点をまとめて正確な情報を報告してください。
- ・緊急搬送等を伴う事故の場合は、当日のそれ以降の活動は中止してください。